

神話高千穂鉄道

列車の運行再開を目指す新会社の神話高千穂ロッコ鉄道に増資などを提案しているオフィスナラサキ(本社東京都、樫崎剛社長)が、きょう午後七時から高千穂町三田井の高千穂神社社務所で、自らの構想を紹介する勉強会を開く。主催は、賛同者が立場を超えて運行再開を目指している高千穂線全線復活熱望国民会議(栗田利枝議長)。

講師は、同社の樫崎社長。講話のタイトルは「株式会社の仕事」と資金調達方法」副題は「マネーゲーム」と会社の成長に必要な資金調達の違い」。

今夜7時、コンサルタントが説明会

同社はベンチャー企業の株式上場や投資などをコンサルティンクしており、専門的な立場から、株式や株券、株式会社、貸借対照表、損益計算書などの基礎的な知識、資金調達方法、株式市場の仕組み、高千穂線復活のシミュレーションなどを紹介、提案する。

第三セクターの高千穂鉄道が所有する高千穂―槇降間は来月二十六日で休止期を迎えるが、新会社はその後運行再開を目指すことを決めている。ただ、従来通りに国交省と事業計画のやり取りを続けるのか、増資や、認可条件が緩和される観光特化の鉄道を目指すなど、新たな道を検討するかについて意見が分かれている。

今回の勉強会は、国民会議が「株式のことなどをより理解した上で議論すべきではないか」という樫崎社長の考えを受けて実施、広く参加を呼び掛けることにした。申し込みや参加費は不要。